

葛巻病院整備基本構想〔概要版〕

1 現施設の課題

町内唯一の公立病院である葛巻病院は、築後40年を経過し設備等の老朽化が進んでいることや施設が手狭なことによる弊害が顕著になってきた中、少子高齢化の進行が著しい本町において、今後も地域住民の「かかりつけ医」的役割、または地域の中核病院としての役割を担いながら、多様な医療ニーズに対し、安定的に継続して応えていくためには、新たな施設を整備し、医療体制の充実・強化を図る必要があります。

2 新病院の基本理念と基本方針

●基本理念

葛巻病院が町民の健康的な生活を支える公共医療機関として存在することを自覚し、地域住民から信頼される医療を提供します。

●基本方針

基本理念を実現するため、次のとおり基本方針を定めます。

- ・ 地域住民の生命と健康を守るために、「かかりつけ医」的役割及び地域中核病院としての役割を担います。
- ・ 患者の権利を最大限尊重するために、説明責任と診療情報の提供を積極的に行います。
- ・ 健全かつ自立した経営基盤確立のために、合理的かつ効率的な経営に努めます。
- ・ 医療水準向上のために、医療知識・技術の修得、研鑽を励行します。

3 新病院の役割・機能

二次医療圏の中では基幹病院から遠く離れ、中山間地域に立地している葛巻病院は町内唯一の一般病院であり、地域住民にとっては欠かせない公立病院です。疾病予防・介護予防等を通じ、町民及び周辺住民の生命と健康を守る「かかりつけ医」的病院並びに地域の中核病院として、また高齢化の進行に伴い、在宅医療及び介護療養などのニーズに応えた医療を提供する病院として、幅広い役割と機能を担います。

①過疎地域における一般医療の提供

②救急告示病院としての初期救急医療の提供

③休日・夜間等の救急患者への診療提供

④小児医療など不採算特殊部門に関わる医療の提供

⑤疾病の予防・維持期を中心とする日常的医療の提供

⑥脳卒中等のリハビリ医療（回復期、維持期）の提供

⑦在宅医療及び介護療養の提供

⑧高齢者に対する適切な医療の提供

4 新病院の方向性

新病院の病床規模については、一般病床及び療養病床合わせて60床を基本とします。外来診療については、現行と同じ5診療科（内科、外科、小児科、産婦人科、眼科）とします。



5 施設整備の基本方針

①患者、医療従事者にとって魅力ある施設

- ・ 患者にとって居住性が高く、安らぎと温かみを感じられる快適な療養環境を実現する。
- ・ 障がい者、高齢者の利用を踏まえ、ユニバーサルデザインに配慮した施設とする。
- ・ 医療従事者が診療、看護に集中できる施設とする。
- ・ アクセス道路や十分なスペースの駐車場を確保する。

②安全性を最大限に考慮した施設

- ・ 耐震に配慮した構造とする。
- ・ 災害時または災害発生後も継続して一定の機能を保持できる施設とする。
- ・ 院内感染の防止等、医療安全に配慮した施設とする。
- ・ 患者のプライバシー保護及び医療情報のセキュリティを十分確保できる施設とする。

③経済性、効率性を考慮した施設

- ・ イニシャルコスト及びランニングコストの低減を目指した施設とする。
- ・ 職員動線の短縮など、業務効率を高める施設とする。
- ・ 将来の用途変更及び医療器械の入替え等、医療環境の変化に柔軟に対応できる施設とする。

④環境に配慮した施設

- ・ 地球温暖化防止や省エネルギーに配慮した施設とする。
- ・ 周辺住民の生活環境や自然環境に悪影響を及ぼさない設計とする。

⑤町産材を活用した施設

- ・ 建築資材として可能な限り町産材を活用する。